

学校教育目標	『人間性豊かで知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成』
育成を目指す資質・能力	・確かな学力の定着と向上 ・凡事徹底による豊かな心の育成 ・健やかな心と身体の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・全国学力・学習状況調査(国・数・理)は、いずれの教科も10pt以上目標値を上回っている。 ・大分県学力定着状況調査(5教科)は、社会を除く4教科が10pt以上目標値を上回った。社会は目標値を8.4pt上回り、「中世の日本」の領域が他の領域よりも低い。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・分析結果から、社会科は資料活用問題の誤答または記述式問題の誤答や無回答の割合が高い。今後は授業の中で資料を活用する機会を増やしたり、資料をもとに考え自分の考えを表現するような活動を積極的に取り入れたりして確かな学力を付けていかねばならない。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・ノーチャイムによる主体的な行動がとれている。(「ノーチャイムによる2分前着席を行った」生徒98%) ・授業態度向上プロジェクトをはじめとした生徒主体の活動を行い、高い意識で授業に取り組んでいる。 ・「議論の進め方カード」を利用した4人班の話し合い活動が、感染予防のために活発に行えない状況がある。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・学校評価アンケートで「ノーチャイムによる授業1分前入室を実践している」と回答した教職員は100% ・「UDと生徒指導の3機能を取り入れた授業を1単元1時間以上実施した」と回答した教員は82% ・全教科、表現活動(パフォーマンステスト)を学期毎に実施 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・個別の補充学習を全学年実施(テスト前のステップアップ質問教室、寺子屋学習等) ・担任における学校評価アンケートで「毎日ノートの点検活動等を継続的に行った」と回答した教職員は95% ・パフォーマンステスト評価の生徒へのフィードバック	

学力に関する達成指標

- 教員のUDを意識した授業の取組95%以上、授業が分かりやすいと回答する生徒95%以上
- 学校評価アンケートにおいて、「今日のめあてを理解し、積極的に授業参加をした」と答える生徒96%以上
- 各種学力テストの1年大分市標準学力調査と2年県学力定着状況調査(目標+9pt達成)3年全国学力・学習状況調査(目標+10pt達成)

